大阪からIターン、あこがれの漁師を目指して

五島漁業協同組合　村上（むらかみ）　翔太（しょうた）さん　26歳　漁業研修暦2年

村上さんは、研修を受けながら定置網漁の技術を習得しています。

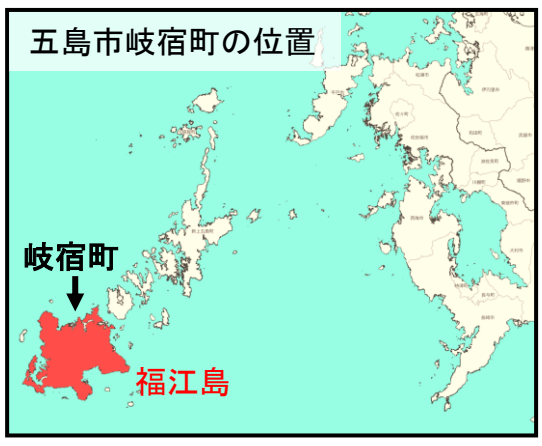
村上さんは、大阪府の出身です。幼いころから釣りが好きで、漁師へのあこがれがありました。

地元の高校を卒業したのち、飲食関係の仕事に従事されていましたが、二十三歳の時に漁師として働く夢を叶えようと決心し、漁業研修を五島市の福江島で開始しました。

研修は、定置網漁師の弟子として、時には厳しく指導を受けながらも、家族のように受け入れてくれる環境に段々と地域になじんでいる実感があるそうです。

昨年からは、五島に奥さんを迎え、家族団らんの時間も増えました。

来年４月に研修期間を終える予定で、現在は島を代表する漁業者を目指して日々頑張っています。



１８歳

高校卒業後、関西の飲食店で勤務

大阪の高校を卒業後、
地元で飲食関係の仕事に従事

２３歳

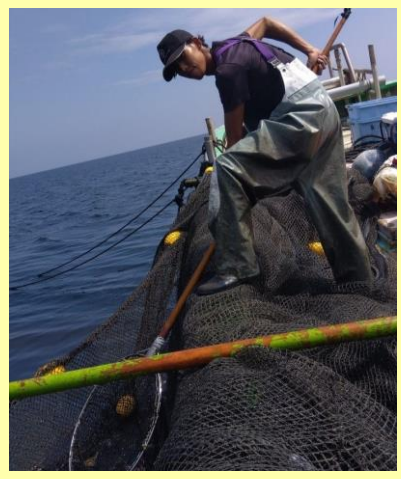
漁師になるために五島に移住

県の研修制度を利用し、
定置網業者に弟子入り。

村上さんの暮らしについて

操業の様子

網の手繰り寄せ



漁獲物取り上げ

軽トラで集荷施設へ運搬

箱詰め作業

仕事の日

起床・身支度	
生簀の魚を水揚げ	3：00
	4：00
	5：00
	6：00
	7：00
トラックで魚市へ魚を運搬	8：00
	9：00
漁場に戻って水揚げ作業	10：00
	11：00
	12：00
昼食	13：00
	14：00
自由時間	15：00
	16：00
	17：00
夕食	18：00
自由時間	19：00
	20：00
	21：00
就寝	22：00

休みの日

起床	
釣りやゲーム	
昼食	
市街地で友人達と外食	
就寝	

漁業以外の活動の様子

地元地域のウニ駆除活動

堤防からイカ釣り

村上さんが住んでいる岐宿地区は、福江島の市街地から車で20分程度離れた漁村です。
五島市の漁村はどこも高齢化が著しく、岐宿地区での同年代の友人は少ないですが、地元の磯焼け対策活動に参加してウニ駆除を手伝ったり、五島市内の漁業者で取り組んでいる魚の神経締めの研究会に参加することで、地域の住民や、他地区の漁業者との交流ができ、漁業以外でも充実した生活を送れています。

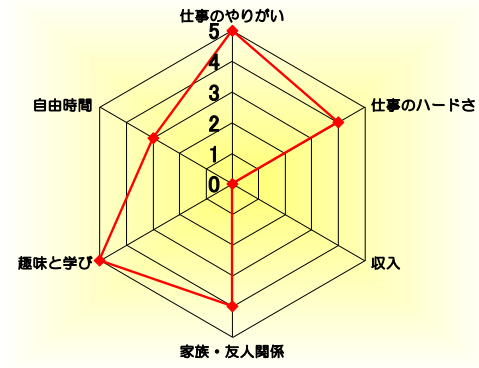
師匠の声

五島に来た当初は続けられるか心配だったけど、今では毎日真剣に漁に取り組んでいて、将来も頑張ってくれるだろうと期待している。色々と悩むことや不便なことも多い場所だと思うが、困ったときは周りに相談してくれればと思う。

漁業就業を目指す方へ

休みを取りにくいことや、危険が伴うことなど大変な部分も多いですが、やりがいも多い仕事です。一緒に切磋琢磨して五島の漁業を盛り上げる若手がたくさん来てくれればいいなと思います。

村上さんの本音チャート



※研修中のため、収入は０とした